

# 函高专男子 初出場3位

## 1年生奮闘 今後の活躍に期待

函館高专のハンドボール部が1月29日からの第49回全道高校新人戦兼第33回全国高校選抜南・北北海道予選会（道ハンドボール協会など主催）に初出場し、南北海道予選会男子の部で3位に入賞した。レギュラー7人のうち6人が1年生という顔ぶれで、顧問の河合博之准教授は「今後も活躍が期待できる」と結果を喜んでいる。

（久留利愛弓）



3位入賞を果たした函館高专ハンドボール部

平成22年2月6日（土） 北海道新聞（夕刊）みなみ風

10校

大会は31日まで札幌市豊平体育館で行われた。南北海道予選会男子の部には札幌や室蘭、函館など各地区の予選を勝ち抜いた8校が出場し、トー

ナメントで競った。函館高专は初戦で静内高と対戦し32―28で勝利。準々決勝は今大会優勝校の札幌西と対戦。前半戦はミスを連発し、6―14と離された。前半終了後に長谷川軍司監督が「普段の練習でやっていた半分の力を発揮できなかった。勝てるぞ」と励ました。後半戦は一步も譲らず、接戦を展開したが、

18―26で惜敗した。後藤勇人主将（2年生）は「これからつながる試合になった。チーム内での声掛けをもっと心掛けたい」と振り返った。長谷川監督は「ハンドボールへの熱意やプレーができることへの感謝の気持ちをもっと育つと、自然と技術も付いてくる」と期待をかけている。